

お知らせ

平成29年1月12日

<同時資料提供先>

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会
岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ
山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

大雪に対する道路利用者への呼びかけ

1月14日から15日にかけて、中国地方では大雪となるおそれがあります。また、気温が平年よりかなり低くなる見込みです。
【別紙-1】

大雪に関する気象情報

http://www.jma.go.jp/jma/bosaiinfo/snow_portal.html

不要不急の外出は避けていただくとともに、やむを得ず運転する場合には、冬用タイヤやチェーン等を早めに装着のうえ、時間には余裕を持って行動して頂くよう、ご理解とご協力をお願いします。

国土交通省中国地方整備局が管理する道路において、大雪時に大型車等の立ち往生車両の発生を未然に防止するために早めに通行止めを行う場合があります。【別紙-2】

最新の情報にご注意下さい。

○問い合わせ先

(道路に関すること)

国土交通省 中国地方整備局 TEL 082-221-9231 (代表)
082-511-6331 (ダイヤルイン: 21時迄)

道路部 道路管理課長 ひらやま かずひろ 平山 和弘 (内線4411)

(担当) 道路管理課 課長補佐 いまち かずまさ 井町 和正 (内線4412)

(広報担当窓口) 広報広聴対策官 さかや まさゆき 坂屋 政之 (内線2117)

企画部 環境調整官 まつもと はるお 松本 治男 (内線3114)

(気象に関すること)

気象庁 広島地方気象台 TEL 082-223-3951

主任予報官 やお しんじ 矢尾 信嗣

道路の異常を発見したら、道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ

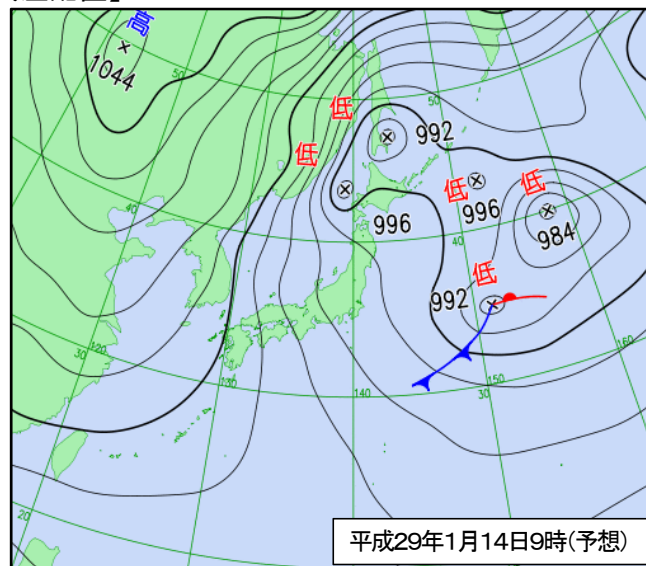
【道路利用者への呼びかけ】

- 平成29年1月14日から15日にかけて、中国地方では大雪となるおそれがあります。また、気温が平年よりかなり低くなる見込みです。
- 道路において、雪による見通しの悪化、**積雪・路面の凍結**などによる立ち往生が発生するおそれがあります。
- **普段雪が降らない地域**においても、**突然の大雪による立ち往生等による通行止め**に注意して下さい。
- **不要不急の外出は避けていただくとともに、やむを得ず運転する場合には、冬用タイヤやチェーン等を早めに装着のうえ時間には余裕を持って行動して下さい。**
- **タイヤチェーンの装着はチェーン着脱場等の安全な場所で行って下さい。**

【1. 今後の気象の見通し】

平成29年1月14日～15日にかけての天候

【気圧配置】



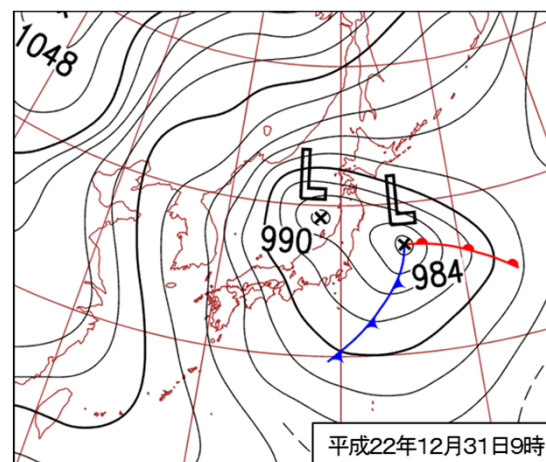
【気象概況】

- 14日から15日にかけて上空に強い寒気が入り、中国地方では冬型の気圧配置が強まる見込み。
- このため、14日から15日は、山陰や山陽北部を中心に大雪のおそれがある。また、風も強まり、ふぶきで見通しが悪くなる場所もある見込み。
- 山陽南部でも積雪となる所がある見込み。
- 気温は平年よりかなり低い状態となる場所もある。

【2. 過去の雪害事例】

平成22年12月31日から平成23年1月1日にかけての大雪

【気圧配置】

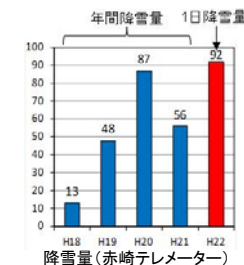


【気象概況】

- 平成22年12月31日は、日本海中部と関東の東海上の低気圧が北東に進み、平成23年1月1日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。
- この影響で、山陰から北日本にかけての日本海側を中心に大雪となった。

<大雪のため、大規模な立ち往生が発生 約1,000台>

- 平成22年12月31日から平成23年1月1日にかけて、北日本から西日本の広い範囲で降雪、山陰地方でも、鳥取県で1日の降雪量が年間の降雪量を上回る90cm近くの大雪となった。
- 国道9号でタンクローリーの立ち往生をきっかけに、約1,000台の大規模な立ち往生が発生。
- 車両の移動および通行止め解除に約2日を要した。



中国地方整備局が管理している道路のうち、大型車等の立ち往生車両が発生する恐れが高い27区間を「除雪優先区間」に指定して、大雪時には通行止めを行い、集中的な除雪により、立ち往生車両の発生を防止します。その他の区間においても、降雪状況等により通行止めを行う場合があります。



※冬期お役立ち情報はこちら

<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/doyroj/its/PAGE2/index.html>

